



テープカットを行い新校舎の完成を祝う関係者ら

# 東中特別教室棟が竣工

## 駒ヶ根市 新たに相談室も設置

駒ヶ根市は30日、木造校舎の老朽化に伴い建て替えた東中学校特別教室棟の竣工式を現地で行った。市や市教育委員会、学校、地区、業者などの関係者約60人と、全校生徒ら約200人が参列し、新たな学びの完成を祝った。

### ■6面にグラフ

新校舎前で関係者がテープカットを行い、体育館に会場を移して式典を行った。杉本幸治市長は「木造校舎は地域の思いや歴史の重みなどもあるが、生徒の安全確保を第一に考え新校舎を整備した。新たな学びの場として、安全で充実した学校生活を送ることができると期待する。地域を担う人として、未来の駒ヶ根市をつくる人として、その基礎を養ってほしい」と生徒ら

に呼び掛けた。

生徒を代表し、瀧澤純風生徒会長は「歴史のある校舎が取り壊されることはとても寂しく思ったが、新校舎で学べることをうれしく思う。東中生徒全員で大切に使用していきたい」と感謝した。

1965年建設の特別教室棟と技術科棟がいずれも木造で耐震強度が乏しいことから、2棟を統合して技術科棟跡地に新校舎を整備。鉄骨造り2階建て、延べ床面積約978平方メートル。1階に木工室、美術室、調理室を配し、2階には音楽室や視聴覚室、家庭科室に加え、新たに相談室も設けた。総事業費は約2億5200万円。設計・監理を田原建築設計事務所、建設工事はヤマウラ・窪田建設特定建設工事共同企業体が請け負った。

2月8日の授業参観に合わせ、内覧会を行う。時間は午前8時45分～午後3時20分。誰でも自由に見学できる。

(高島剛志)